

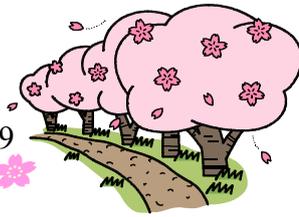
校長室通信

小国町立小国中学校

令和 5.3.24 (金) No39

最終号

文責 狭間卓史



「SDGs発表会」

今月1日(水)、渡邊誠次町長ご臨席のもと、本校生徒による「SDGs発表会」を実施しました。この取り組みは、本年度の各学年による「総合的な学習の時間」の学習成果(経過)を学び合う機会として位置づけた時間でした。

SDGsには17の目標ゴールが設定されており、本校生徒もその内のいくつかのゴールを各自(各班)で選択し、その課題解決に迫ろうと取り組みました。本校の取り組みの特色は、その学習を「総合的な学習の時間」のみの取り組みで終わらせるのではなく、各教科とのつながりを持たせているところにあります。そして、この取り組みを通じて小国町の様々な場所に出かけ、地域の方々に直に学ばせていただくことを何よりも大切にしています。この学習を通じて本校が目指したのは、地域のヒト・モノ・コトに学び、その過程でこの町のことをもっと好きになるということにあります。

本年度の取り組みの一つが、「新制服導入」でしたが、生徒による子ども議会での制服購入に際する助成金のお願いについても、渡邊町長をはじめ議員さんや町当局の皆様方は、生徒の思いを正面から受け止め、その実現に尽力くださいました。生徒にとってこの経験は、自分たちの思いを丁寧に伝えていくことの大切さを学ぶ何よりの機会にもなりました。コロナ禍が収まりつつある中で、これからの本校の取り組みは、小国町の中に、さらに入っていくことになるはずです。どうかご期待ください。



【左奥から渡邊町長・村上教育長・政策課秋吉課長】



【8年生の「新トイレマーク」の提案の様子】

「ALL FOR THE NEXT」

二年前に小国中に赴任し、最初に発行した校長室通信の中で、記事の見出しタイトルとして使わせていただいた言葉が

「ALL FOR THE NEXT」でした。

この一年間、現在の職員体制で精一杯の取り組みを重ねてきたつもりですが、必ずしも生徒やそのご家族の皆様方のご期待に沿うことばかりではなかったはずですが、このことは、先日ご協力いただきました学校評価アンケートの結果を見ても明らかであり、本校実践は改善の余地を幾つも残しています。しかしながらこのことは、本校の課題であると同時に、本校のこれからの伸びしろとしてもとらえています。

先日、52名の卒業生を送り出したばかりですが、四月には八年生・七年生がそれぞれに進級し、32名の新入生を迎えます。そして職員も保護者さんも新たな仲間を加え、新しい小国中学校づくりが始まります。期待に胸躍らせる春です。

これまでの本校実践への温かなご理解とご支援に、心から感謝申し上げますとともに、新年度の本校への変わることのないお力添えをあらためてお願い申し上げます。

☆この通信のカラー版は全て本校ホームページに掲載していますので是非ご覧ください☆



【昨年4月の写真です。今年も満開の桜が咲くはずです】